

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがおきっず八雲			
○保護者評価実施期間	2026/2/16		～	2026/3/21
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2026/2/16		～	2026/3/21
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに合った支援・サポートを行っている 家庭での対応方法を積極的に共有し、保護者様からのフィードバックを迅速に支援計画へ反映させている 	<ul style="list-style-type: none"> 苦手なことに合わせた支援 家庭での対応方法や保護者様からの意見・要望を職員で共有し、支援内容の見直しを行っている 保護者様同士が交流できる場を設け、家庭での工夫や悩みを共有しやすい環境を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭支援に関する勉強会やワークショップを定期的に開催し、スタッフのスキルアップを図る
2	生活空間を清潔にし、子供たちが心地よく、活動に合わせた空間になっている	子どもたちの活動後に丁寧に掃除を行い常に清潔な環境を保つよう心掛けている	定期的に職員同士で環境整備について話し合い、新しいアイデアや改善点を取り入れる
3	<ul style="list-style-type: none"> 創作活動や集団取り組みなど、遊びながら学ぶ体験活動を重視し、楽しみながら対人スキルや自律心、集中力をはぐむ環境を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの発達段階に合わせて、創作活動などの内容や難易度を調整している 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に職員間で活動内容の振り替わりミーティングを実施し、成功事例や課題を共有する仕組みを導入する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的なスキルアップ研修が実施されていないため、サービスの質にばらつきがある	職員の経験やスキルに差があるため、支援の質に統一性がもてていないこと	定期的なスキルアップ研修を計画的に実施し、全職員が最新の知識や技術を習得できるようにする
2	書類の整理や管理が徹底されておらず、必要な情報をすぐに取り出せないことがある	デジタル化が進んでおらず、紙ベースでの管理が中心となっているため、情報の検索性や共有が難しい	管理ルールを明確に定め、デジタル化や分類方法の統一を進めることで、必要な情報を迅速に取り出せる体制を整える
3	地域の他機関や関係団体との連携が弱く、情報交換や協力体制が十分に構築されていない	広報活動や地域交流の機会が少ないこと	連携先との窓口担当者を明確にし、日常的なコミュニケーションを活発に行うことで、迅速な情報共有と協力が可能となる体制づくりを行う